

子供の事故防止・減少のために、消費者団体、製造・販売等の事業者、
行政機関が協力し行っている取り組みに関する調査
(ロンドン事務所回答)

○ 調査概要

- 1 調査依頼機関 東京都（生活文化スポーツ局消費生活部生活安全課）
- 2 希望回答期限 令和4年7月13日（水）

3 調査の趣旨

東京都は、製品等による子供の事故が起こりにくい社会を目指して、消費者・事業者・行政が製品事故等に関する有益な情報を収集・発信する仕組として、子供の事故防止のための安全対策に関するプラットフォームの構築を支援する。

構築にあたり、東京都商品等安全対策協議会を行い、学識経験者、消費者団体等で協議し、専門的な意見を得て、プラットフォームに反映していく。本会議は、2022年7月頃から2022年12月頃までに3回程度開催予定であり、7月下旬の第1回会議で調査結果を会議資料として利用したいと考えている。

本調査では、海外での同様な取り組みについて把握し、協議する上での参考としたいと考えている。

4 調査内容・質問事項

子供の事故防止・減少のために、消費者団体、製造・販売等の事業者、行政機関が二者又はそれ以上の関係者で協力し、行っている取り組み※について

※ 協働している団体や会議、HPやイベントを含む

○ 調査結果（英国における取組事例）

英国における取組事例として、①行政機関、②NPO団体、③業界主体のNPO団体の主な事例は以下のとおり。

種別	No.	主体の名称	協働・連携	事例
①行政機関の例	(1)	ビジネス・エネルギー・産業戦略省商品安全基準局 (The Office of Product Safety and Standards)	消費者、事業者、行政機関、関連NPO等	季節行事にあわせた子供の事故防止情報の発信など
②NPO団体の例	(2)	公正取引協会 (Chartered Trading Standards Institute)	消費者、行政機関、関連NPO等	同上
	(3)	子供事故防止基金 (Child Accident Prevention Trust)	消費者、事業者、行政機関、医療機関、関連NPO等	「子供安全週間 (Child Safety Week)」など
	(4)	イギリス王立事故防止協会 (Royal Society for the Prevention of Accidents)	消費者、事業者、行政機関、医療機関、関連NPO等	「Keeping Kids Safe Hub」、「Safe @Work-Safe@Home」、「Family Safety Week (家族安全週間)」など
③NPO団体 (業界主体) の例	(5)	国際石鹸・洗剤・メンテナンス製品協会 (International Association for Soaps, Detergents and Maintenance Products)	消費者、事業者、行政機関、医療機関、関連NPO等	子供をキャップ (蓋) から守る取組「Keep Caps from Kids」

上表の各取組事例の内容は以下のとおり。

(1) ビジネス・エネルギー・産業戦略省商品安全基準局 (The Office of Product Safety and Standards)

消費者保護、公正取引保護を所管する中央政府機関。「公正取引協会」、「イギリス王立事故防止協会」等と連携し、子供による磁石やボタン電池、小さなおもちゃ等の誤飲防止、ハロウィーンやクリスマス等の季節にあわせた子供の事故防止に向けた注意喚起を行う各種キャンペーンを実施している。

<事例1> 「Ingestion Campaign (誤飲防止キャンペーン)」

個人、企業、団体等が自由に使用することのできる、注意喚起を行うためのリーフレットやポスター、SNS掲載用の画像（英語及びウェールズ語対応）の

データを提供しているほか、SNS等でハッシュタグ「#nilbymouth」を活用した普及を呼び掛けている。さらに、誤飲防止の動画を作成し、普及啓発に取り組んでいる。

【参考リンク】

- ・専用ページ (Nil By Mouth Ingestion Product Safety)
<https://www.gov.uk/guidance/child-safety-nil-by-mouth-ingestion-product-safety>
- ・動画「[Nil By Mouth Campaign Video](#)」(YouTube)

<事例2> 「Halloween Safety Campaign」

主に、①仮装した子供たちを裸火に接近させないこと、②仮装衣装は、正規の販売者から購入し、CEマークをはじめとする安全マークが記載されているかを確認すること等を普及するための動画を作成し、普及啓発に取り組んでいる。

【参考リンク】

- ・専用ページ <https://www.tradingstandards.uk/news-policy/campaigns/halloween-safety-campaign>
- ・動画「[Staying Safe at Halloween](#)」(YouTube)

<事例3> 「Christmas Safety Campaign」

クリスマスプレゼントとして、子供におもちゃを購入する際に、正規の販売者から購入すること等、安全なおもちゃを購入するためのポイントについてまとめたリーフレットやポスター、SNS掲載用の画像（ウェールズ語及び英語対応）を提供し、普及啓発に取り組んでいる。

【参考リンク】

- ・専用ページ <https://www.tradingstandards.uk/news-policy/campaigns/christmas-toy-safety/>

(2) 公正取引協会 (Chartered Trading Standards Institute)

英国及び海外の政府、地方自治体、企業、消費者団体において消費者問題に関わる専門家等の人材育成等を行う非営利団体。消費者、事業者等に対する取引基準の普及、消費者保護に向けた情報発信も行っている。子供の事故防止に関しては、上述のとおり、ビジネス・エネルギー・産業戦略省商品安全基準局等と連携し、子供の誤飲防止やハロウィーン、クリスマスの時期における「Safety Campaign」を実施している。その他、同団体が政府と連携し実施しているキャンペーンの情報は以下リンク参照。

【参考リンク】

- ・公式サイト（キャンペーン一覧）

<https://www.tradingstandards.uk/news-policy/campaigns/>

（3）子供事故防止基金（Child Accident Prevention Trust）

英国に拠点を置くチャリティ団体。同団体は、子どもたちを取り巻く事故を防止するための知識を普及するため、英国政府（交通省）や事業者等の支援を受け、毎年「子供安全週間（Child Safety Week）」を開催している。

具体的には、子供を持つ保護者、子ども向け商品を扱う事業者等を対象に、子どもの誤飲や転落、火傷、交通事故等が起こり得るきっかけや、事故の予防策をまとめた「ファクトシート」（英語の他、6言語に対応）を作成し、各家庭や事業者、行政関係者向けにSNSやホームページを通じて公開している。

なお、Cheshire West and Chester（イングランド北西部のチェシャー州西部の単一自治体）のNHS子供センターにおいては、この「子供安全週間」の開催にあわせて、「イギリス王立事故防止協会」及び「英国クリーニング製品工業協会（UKCPI）」と連携し、家庭用掃除用具による子供の事故防止に向けた独自のキャンペーンを実施し、保護者等に向けて、掃除用具の適切な管理、使用を呼びかけた。

【参考リンク】

- ・専用ページ（子供安全週間） <https://www.capt.org.uk/>
- ・専用ページ（Cheshire West and Chester） <https://www.ukcpi.org/child-safety-campaign-launches-in-cheshire-west-and-chester/>

（4）イギリス王立事故防止協会（Royal Society for the Prevention of Accidents）

日常生活における安全性の促進に向けた教育、情報発信等を行うチャリティ団体。企業等の安全衛生担当者等向けの研修やコンサルティングのほか、優れた安全管理を行う企業や団体等を表彰する「安全衛生賞」の設立や事故の統計データの公表、事故防止に向けた普及啓発キャンペーンを実施している。本部をイングランドのバーミンガムに置き、スコットランド、ウェールズにも拠点を持つ。

子供の事故防止に向けてオンライン上で公表しているリソースやキャンペーンには、以下の事例がある。

<事例1> 「Keeping Kids Safe Hub」

5歳未満の子供の事故防止及び子供の救命に関する情報やアドバイスの提供等を行っている。入浴時、就寝時、食事時等の多様なシチュエーションや、火傷や転落、窒息等の事故別に、実際に発生した事故の事例やその防止策についてまとめた情報をオンライン上で提供している。保護者が無料で登録することのできる

電話やメールによる情報発信も行っている。

【参考リンク】

- ・専用ページ (Keeping Kids Safe)

<https://www.rospa.com/resources/information-hubs/keeping-kids-safe>

<事例2> 「Safe@Work-Safe@Home」プログラム

幼い子供や高齢者の家庭内や外出先における事故を予防し、安全を確保するために、化粧品会社「ロレアル」が設立したプログラム。これについて、「イギリス王立事故防止協会」は、より多くの企業・団体の参加を促すため、同プログラムの発展・拡大に向けた普及活動に協力している。家庭内、外出先、レジャー先等のシーン別に、それぞれの状況で発生しうる事故の事例やその予防策についてまとめたリーフレットやポスター、安全性を確認するためのクイズ等をオンラインで提供している。リーフレット等は英語のほか、6か国語対応。

【参考リンク】

- ・専用ページ (Safe@Work-Safe@Home)

<https://www.rospa.com/resources/hubs/safe-at-work-safe-at-home>

<事例3> Family Safety Week (家族安全週間)

子供や高齢者の事故防止キャンペーン。2022年のキャンペーン (2022年5月2日から8日まで実施) では、高齢者の転倒防止に焦点を当て、「Fall Fighter (転倒ファイター)」を育成することを目標とし、個人やボランティア、他団体等を対象として、歩行者の転倒を防止するための無料講座の提供等を行った。同テーマに関する情報発信のほか、①歩道における子供の安全確保、②マグネットやボタン電池の誤飲防止、③水難事故の防止に関する情報提供も行われた。同キャンペーンの普及啓発にあたっては、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムのアカウントが活用されたほか、参加者、賛同者へハッシュタグ「#FSW」の活用が呼び掛けられた。

【参考リンク】

- ・専用ページ (Family Safety Week)

<https://www.rospa.com/campaigns-fundraising/current/family-safety-week>

<事例4> Blind Cords (ブラインドによる事故防止キャンペーン)

子供部屋におけるループコード式のブラインドによる事故防止に向けて、安全なブラインドカーテンの選択や使用に関する安全基準をまとめたリーフレット (英語のほか、11か国語対応)、Q&A集の提供や動画の作成を行い、普及啓発に

取り組んでいる。

【参考リンク】

- ・専用ページ (Blind Cords)

<https://www.rospa.com/campaigns-fundraising/current/blind-cord.aspx>

- ・動画①「[Making your existing blinds safer](#)」(YouTube)
- ・動画②「[Highlighting the dangers associated with window blind cords](#)」(YouTube)

その他、同団体による取組の情報は以下リンク参照。

- ・キャンペーン一覧

<https://www.rospa.com/campaigns-fundraising/current>

- ・研修

<https://www.rospa.com/safety-training>

- ・コンサルティング

<https://www.rospa.com/safety-consultants>

- ・安全衛生賞「Health & Safety Awards」

<https://www.rospa.com/awards>

(5) 国際石鹼・洗剤・メンテナンス製品協会 (International Association for Soaps, Detergents and Maintenance Products)

欧州各国における洗剤・石けんメーカー等で構成される、洗剤関連の業界団体。同協会は、子供による事故防止の取組として、会員企業であるP&G社、ユニリーバ社及び上述の「イギリス王立事故防止協会」、「子供事故防止基金」と連携し、「Keep Caps from Kids (子供をキャップ(蓋)から守る)」プログラムを実施している。プログラムの公式ページでは、洗剤製品・容器等の誤飲防止に向けた予防策や緊急時の対応について、動画やリーフレットを作成し、情報提供を行っている。

【参考リンク】

- ・専用ページ：<https://www.keepcapsfromkids.eu/>

以上